

時間割コード	G2B60153	開講年度	2026				
授業題目	【安曇野市×信大 協働授業】野生生物と狩猟を学ぶ				担当教員	高木 文子	
英文授業名	Let's learn about wildlife and hunting					浅野 郁	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育 1 2 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				自然環境と地域社会の現状を理解し、課題を自らの言葉で説明・発信し、持続可能な社会を作るためには私たちはどのように行動してゆけばよいかを総合的に考えることができるようになる		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、環境マインド実践人材養成コース、グローバルコア人材養成コース・BASIC(日本理解)						
(4)授業の概要	本授業では、野生生物に関する社会の枠組みを学ぶとともに、人と野生動物との軋轢の問題を取り上げ、鳥獣管理の手法や特に「狩猟」について学び、狩猟免許（わな猟クラス）を取得可能なレベルの知識を身につけます。 自然環境行政の実務経験を有する担当教員や長野県、安曇野市の野生動物管理に携わる現場職員らが、その経験を生かして具体的な事例等を踏まえながら、講義を行います。						
(5)授業のキーワード	鳥獣保護管理、地方創生、生物多様性、生態系サービス、里地里山、二次的自然、文化、自然資本、持続可能な開発、信州、人口減少、高齢化、環境マインド、課題発見・解決、実務経験						
(6)授業計画	第01回（4月9日）：ガイダンス 第02回（4月16日）：野生生物の法と枠組み 第03回（4月23日）：野生生物を取り巻く社会環境 第04回（5月7日）：鳥獣保護管理の全国取組（環境省担当者） 第05回（5月14日）：長野県における鳥獣保護管理（長野県担当者） 第06回（5月21日）：自治体における鳥獣保護管理（安曇野市担当者） 第07回（5月28日）：狩猟現場の活動（猟友会） 第08回（6月4日）：鳥獣管理現場の活動（民間企業）【中間レポート】 第09回（6月11日）：大学の取組 第10回（6月18日）：狩猟を学ぶ～狩猟読本～ 第11回（6月25日）：狩猟を学ぶ（仕組み・知識） 第12回（7月2日）：狩猟を学ぶ（実技） 第13回（7月9日）：グループワーク 第14回（7月16日）：グループワーク 第15回（7月23日）：まとめ ゲスト講義は、実際に施策活動に取組んでいる方からお話をして頂きます。 授業の進行状況により順序・内容を変更することがあります。						
(7)成績評価の方法	以下の方法により成績評価を行います。 （１） 中間評価（レポート）30点 （２） 最終評価（レポート）60点 （３） 授業への参加態度・意欲10点						
(8)成績評価の基準	授業の達成目標に対して以下の観点から評価を行います。 （ ）課題等の意図を正確に理解しているか。 （ ）社会動向等を踏まえ、正確な情報を収集できているか。 （ ）批判的視点を持ち、自己見解を論理的に述べているか。 （ ）創造的もしくは独創的な提案を述べているか。 上記の観点を満たし、かつ教員を感心させるレベルにあれば、「卓越している」、4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目満たしていれば「やや上にある」、2項目まで満たしていれば「合格水準にある」とします。						
(9)事前事後学習の内容	特段の指示をした回以外は、予習は求めません。しかし、日頃から環境問題（特に鳥獣保護管理）に関心を持ち、自己との関連性について考える訓練をしておいてください。 レポート作成に当たっては、最新のTVニュースや新聞記事等に注意を払うとともに、学術誌や図書など様々な情報媒体を使って自己分析の上、作成するようにしてください。 また、授業で学んだ施策の現場を訪れるなど、知見と経験を深めることを推奨します。 この授業は、90時間の学修を必要とする内容です。従って60時間以上の時間外学習が必要です。						
(10)履修上の注意	・本講義は共通教育特別横断プログラムの一つである「環境マインド実践人材養成コース」のコア科目です。定員を上回り抽選となった場合、環境コースの受講予定者を優先する場合があります。 ・学研災・学研賠に必ず加入してください。						
(11)質問、相談への対応	授業中や授業時間後に質問や相談に応じます。また、研究室訪問やメールでも随時受け付けます。不在の場合もあるので、訪問の際は事前アポイントをお願いします。 メールアドレスは、takeko_t@（アットマーク以下は大学で付与されるメールアドレスと同じ）です。						

(12)授業への出席	本科目は、講義・グループワークを含みます。上記すべての授業・作業に参加することを前提とします。本授業は、原則対面での参加とし、「信州大学における授業の出席に関する要項」第 4 に規定する「学修の補充の対象とする事由」で欠席し、補充を受けた場合を含み、欠席回数が 6 回以上になると授業の達成目標に到達することができないため単位が認定されません。 また、原則出席は授業時間の2/3以上の在席をもって出席とみなします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	出席停止などの理由により授業に出席できない学生に対しては、オンデマンド形式の受講を認めます（講義の場合のみ）。授業開始前までにメールで連絡してください。
【教科書】	教科書：「狩猟読本」 教科書は生協書籍部カウンターにてご注文ください。 お取り寄せに一週間程お時間いただきます
【参考書】	・狩猟学（梶 光一，鈴木 正嗣，伊吾田 宏正（編）、朝倉書店、2013） ・森林生態系の保全管理 森林・野生動物・景観（上田裕文 梶光一、共立出版、2025） ・野生動物の保全と管理の事典（「野生生物と社会」学会 日本哺乳類学会、朝倉書店、2025） ・狩猟の疑問に答える本 罟猟Q&A100（『狩猟生活』編集部、山と溪谷社、2023） ・狩猟用語事典（『狩猟生活』編集部、山と溪谷社、2022） ・罟ガール（緑山のぶひろ、KADOKAWA） ・山賊ダイアリー（岡本健太郎、講談社） このほか、必要に応じて授業の中で紹介します。